

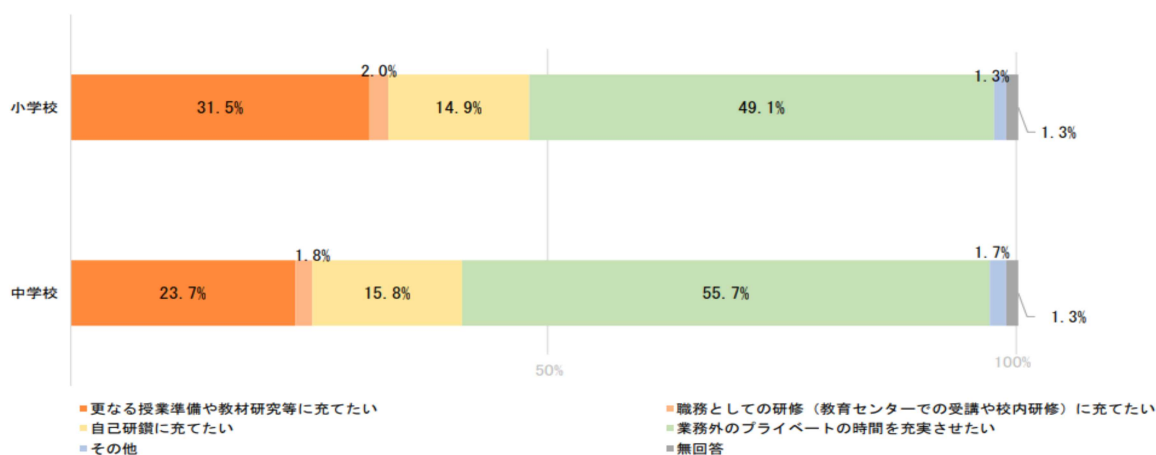
わ だ ち



第一号を読んでくださり、ありがとうございました。第2号では第1号で紹介した「1. 校務に関してのやりがいの分析」と「2. プライベートの空き時間に関する小中教職員の意識調査」です。これは文部科学省の初等中等教育局の調査の速報値です。まず分析から

- ・ 授業、授業準備や生徒指導等の業務については、相対的に負担感が低く、やりがいや重要度が高い。
- ・ 事務や地域対応等の業務については、相対的に負担感が高く、やりがいや重要度が低い。という分析内容でした。
- ・ 「2. プライベートの空き時間に関する調査」では、

仮に今よりも業務時間が短縮された場合、空いた時間をどのように使いたいですか



※上記は、校長、副校長・教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭の平均値。

分析内容はキャリア通信3号で紹介します。

先月、キャリアコンサルタントとしてできることを紹介しましたが、もう少し詳しくできることを紹介したいと思います。もし「自分気持ちを整理したい。」「やってみたくがあるがどうしたらよいかわからないので相談にのってほしい。」「仕事とその他の両立で悩んでいるので相談にのってほしい。」「これからの人生プランについて話をしたい。」そのような方がいらしたら声をかけてくださるか下記までメールをください。

私たちキャリアコンサルタントが教職員に対してできることは

- ・ キャリアカウンセリング：教職員のこれまでのキャリアや将来のキャリアビジョンを理解し、その実現に向けて必要な支援を行うことができます。
- ・ キャリア情報提供：教職員に、転職やセカンドキャリアに関する情報を提供し、情報収集を支援することができます。
- ・ セカンドキャリアのサポート：教職員のセカンドキャリアを支援するため、起業や副業に関する情報を提供し、起業や副業スキルを向上させることができます。

注 支援というのはあくまでもありたい自分に対して手助けをしたり、一緒に考えていくということで、こちらから一方的に解決策や情報を提供したり職業紹介をしたりすることではありません。

ZOOMによるオンライン相談は、下記アドレスまで相談日と相談内容を入れてメールをください。ミーティングIDとパスワードをメールで返信します。

norix7364@wave.plala.or.jp / nori196148@gmail.com まで (小文字)